

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史研究

教科： 地理歴史 科目： 世界史研究 単位数： 4 単位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ G 組
教科担当者：AG, DE, BCF組：西田
使用教科書：（ 詳説世界史・山川出版社 ）
教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 ・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動、西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出、アジア諸地域の特徴を構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の交易とヨーロッパの進出、アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 教科書・資料集・用語集を使用 ICTを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動、西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出、アジア諸地域の特徴を構造的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の交易とヨーロッパの進出、アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

	【知識及び技能】 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想、産業革命と環太平洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ諸地域や大西洋沿岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 第12章 産業革命と環大西洋革命 教科書・資料集・用語集を使用 ICTを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識及び技能】 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想、産業革命と環太平洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ諸地域や大西洋沿岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	【知識及び技能】 集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発、先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、紛争解決の取組と課題、格差は正の取組と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際機構の形成と紛争、国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界 教科書・資料集・用語集を使用 スライドを利用した講義 個人課題・グループ課題 一人一台端末の活用 等	【知識及び技能】 集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発、先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、紛争解決の取組と課題、格差は正の取組と課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国際機構の形成と紛争、国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。				32
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 大学入試に対応できる知識と資料を読み取る力を向上し、教科書や資料集、用語集や書籍を利用して疑問を解決したり知識をまとめたりする力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試問題を分析する活動を通して、知識を説明できる力や問題の分析力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	大学入試問題等を活用した演習	【知識及び技能】 大学入試に対応できる知識と資料を読み取る力を向上し、教科書や資料集、用語集や書籍を利用して疑問を解決したり知識をまとめたりする力を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試問題を分析する活動を通して、知識を説明できる力や問題の分析力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。				16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	問題演習 等	大学入試問題等を活用した演習					合計
							84